談話室 (開催報告)

第 17 回関西支部市民講座

藤山 紀之¹・大西 洋²

¹関西支部市民講座小委員長
(株) 東レリサーチセンター

☎ 520-8567 滋賀県大津市園山 3-3-7

²関西支部長

神戸大学

☎ 657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町

(2015 年 8 月 10 日受理)

Report on Public Lectures in Kansai Branch, 2015

Noriyuki FUJIYAMA¹ and Hiroshi ONISHI²

¹Public Lecture Committee Chair of Kansai Branch, Toray Research Center, Inc., 3-3-7 Sonoyama, Otsu, Shiga 520-8567

²President of Kansai Branch, Kobe University, Rokkodai-cho, Nada-ku, Kobe, Hyogo 657-8501

(Received August 10, 2015)

関西支部では毎年 7~8 月に市民講座を開催している。一般の方々に自然科学と科学技術への関心を深めていただくことが目的である。第 17 回を迎えた本年は「極限環境下での科学」をテーマに選んで 8 月 1 日(土)に京都工芸繊維大学(松ヶ崎キャンパス) 60 周年記念館で開催し、50 名を超す参加をいただいた。プログラムは以下のとおりである。

- 超高圧力環境下の超伝導 清水克哉(大阪大学)
- はやぶさプロジェクトの挑戦から「はやぶさ 2」へ 並木道義(宇宙航空研究開発機構)
- 火山大国日本: その恩恵と試練 巽好幸(神戸大学)

清水先生は演示実験装置を会場に持ち込んで室温の水に超高圧(およそ 10⁹ Pa)を加えて氷 VI に相転移させる実験をライブで見せてくださった。小学生・中学生からシニアまで聴講者全員が氷結晶の生成と消滅に興味津々であった。普段は見ることのできない現象を目のあ

Fig. 1. (color online). Public Lectures in Kyoto. Prof. Yoshiyuki Tatsumi in front of his slide about volcanoes.

たりにすることで、自然科学のおもしろさを素直に実感できた。

並木先生には地球に帰還したカプセル回収の現場体験を臨場感あふれる語り口でお話いただき、現在進行中の「はやぶさ 2」プロジェクトの概要も解説いただいた。広大な空間に挑む宇宙開発の最前線と、それにたずさわる人々の思いを肌で感じることができた。

巽先生は日本が火山大国であること理由や噴火のメカニズム、さらに火山と和食の意外な関係をわかりやすく解説いただいた。頻発する火山噴火をやみくもに怖がるのではなく、必要かつ十分の畏れをいだいて備えるべきであるとのメッセージに聴講者は緊張感を持って聞き入った (Fig. 1)。

各講演後の質疑は活発であり、聴講者へのアンケート結果(回収率 90%)では「とても良かった」と「良かった」が大多数で満足いただいたようである。今後の市民講座へも「参加したい」という声が多く、開催者としてとても嬉しい。

35℃を超える猛暑について会場までお越しいただいた講師と聴講者のみなさまに深く感謝する。また、関西支部市民講座小委員である坂口浩一郎(岡山県立大学)・一色俊之(京都工芸繊維大学)・山田亮(大阪大学)・平山朋子(同志社大学)をはじめ関西支部会員のみなさんに企画・広報から会場設営まで尽力をいただいた。